

亜木津新聞

9月27日は世界観光の日

世界的旅行サイト、トリップアドバイザーの「外国人に人気の日本観光スポットランキング」は日本人の人気観光地との違いにビックリ。あまり有名でない場所も

日本人の人気観光地ランキング

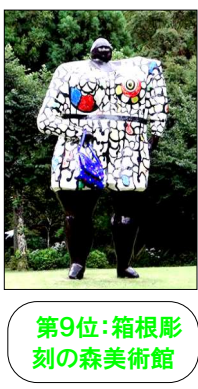
- 第10位 ニッパースルシティ
- 第9位 東京浅草、スカイツリー
- 第8位 大阪(道頓堀とお笑い)
- 第7位 石垣島(真つ青な空と海)
- 第6位 京都(金閣閣清水寺)
- 第5位 金沢(兼六園、美術館)
- 第4位 札幌(大通公園、時計台)
- 第3位 那覇(首里城、シーサー)
- 第2位 博多(中州、海の中道)
- 第1位 デイズニッソート

参考：PRETRIPのサイトより

外国人の人気観光地ランキング

- 第10位 高野山奥の院

(外国人客の口コミ)静かで美しい墓地。弘法大師の永遠の理想の場。



第9位:箱根彫刻の森美術館



第8位 金閣寺

屋外に巧みに配置された素晴らしい芸術品群。屋内にはヒカソも。

京都の宝石。混雑していましたが、古の歴史にタイムスリップ。



第7位 新宿御苑

新宿の素晴らしいオアシス。熱帯植物の温室を備えた国民公園。



第6位 清水寺

混雑を避けて早朝に行ったら、地元の信者が僧と誂経していた。銅鑼の深い音色が美しかった！



第5位 東大寺

写真ではわからないとてつもない巨大さに絶句。まさに唯一無二。



第4位 宮島

日本一の景観に出会える。一泊して観光客が少ない時間がベスト。



第3位 広島平和記念資料館

人類の重要な歴史であり、誰もが訪れて学ぶべきだ。見学中、北朝鮮のミサイルが上空を通過した。



第2位 アキバフクロウ

部屋中にキュートなフクロウたち。二羽選んで45分間水入らず。



第1位 伏見稲荷大社

友人に日本の神社、鳥居、お参りの作法を教えるのにつけて！屋台が並んでいるから食べ歩きも！



スダレ眉

参考：トリップアドバイザーのサイト
二位のアキバフクロウには驚きました。日本人との視点の違いに目からうろこ！

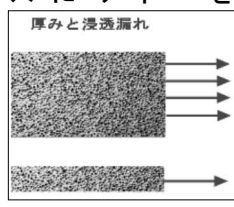


40、50歳代以上の男性の方、ある日突然、眉毛に長いものがあることに気が付いた方はいませんか？

第81代内閣総理大臣の村山富市さん、元衆議院議長の河野洋平さん(写真右下)、俳優の若山富三郎さん(写真右上)、作家の川内康範さん(例が古いですが)。仙人や老人などのイラストでも特徴的に眉毛を長く描きますよね。「おじいちゃんのだれ眉」とも言うのですが、なぜ年寄りの眉毛は長いのでしょうか？男性が1日あたりに分泌する男性ホルモンの量は7mg程度で、女性のそれは0.4mg程度なのだそう、加齢により男性ホルモンが減り、抜け変わるサイクルが遅くなるため、男性は頭髪は薄くなり、毛周期の長い眉毛は長くなるそうです。つまり老化による細胞の乱れが、もとも少しは生えていた無駄毛の伸びる速さや量を狂わせているというところのようです。「抵抗力や反射神経が下がってしまった『じいちゃん』の最後」の昔でそれがボーボー機能なのです。しかし耳毛や長い眉毛も「老化によるホルモンバランスの乱れのあらわれ」と考えると、なんだか切ないですね。

【フジモンのガスケット講座】

③ガスケットの厚さと浸透漏れ
今月は厚さと漏れのお話。
ジョイントシートは多孔質、つまりスポンジのように内部に微小な穴を多く持った構造をしています。この穴を流体が通過すると浸透漏れが起きます。ガスケットの厚さと浸透漏れ量の関係を見てみましょう。右図のように、薄いガスケットは穴数が少なく、浸透漏れの量は少なくなります。逆に厚いガスケットほど穴数が多く、浸透漏れをとめるには、より高い締付面圧が必要となります。



【読者よりのお便り】
前回はPCが壊れて返信できませんでした。今回の狐の話は面白かった。最後の映画もい話でした。T.S様
『狐の嫁入り』伝説…は泣けましたね。雨は美しい涙でしたか。ちなみに女房は晴れ女といつも言っています。先日、知人から鈴虫をいただきました。そのよく鳴くことといたら…。静かな夜長とはいきません。A.S様
毎月の発行と送付をありがとうございます。8月末で退職することになりました。毎月、亜木津新聞を受領するのが、とても楽しみです。陰ながら編集部のご健康と御社の益々の発展をお祈り申し上げます。本当に、ありがとうございました。 M.S様



「ゆりかごを揺らす手」

1991年 アメリカ 110分
監督 ガーティス・ハンソン
出演 レベッカ・デ・モローネイ
アナベラ・シオラ
ジュリアン・ムーア

ある産婦人科の医師が検診中、わいせつ行為を行ったとして、訴えられて自殺。医師の妻、ペイトンは全財産を没収され、ショックの余り、身籠っていた子供まで流産してしまう。全てを失ったペイトンは、訴訟を起こしたクレアを逆恨みし、ペーパーシッターとしてクレア家に潜入し、復讐を企てる。

悪女役のレベッカ・デ・モローネイの演技が光ります。狂気すら感じる演技は下手なホラーより怖いほどですが、母性を感じさせるシーンでは少しだけ同情して、切なさも感じました。ラストが少しあっさりしていて惜しいものの、シンプルながらしやすい構成で、万人にオススメできるサスペンスです。

ピカテリー加藤

